

### ■米国：原子炉開発ベンチャーのテラパワー社に 3,500 万ドルの追加投資

新型原子炉開発を行うベンチャー企業テラパワー社（本社：ワシントン州）は、投資会社チャールズ・リバーやコルサなどから総額で約 3,500 万ドルの追加投資を受けた。テラパワー社は TWR (Traveling wave reactor) と呼ばれる革新的原子炉の開発を手がけており、マイクロソフト社長のビル・ゲイツ氏が多額の投資を行っていることで知られている。TWR は燃料の大部分を非核分裂性の劣化ウラン（ウラン 238）が占める原子炉であり、既存の軽水炉の主なエネルギー源である核分裂性ウラン 235 を殆ど使用しない。また運転を進めるに従って新たな燃料となるプルトニウムが増えていくため、100 年間にわたって燃料補給が不要とも言われている。投資機関チャールズ・リバーは、テラパワー社がこれまでに大きな進展を見せたことから追加投資を決定したとしているが、テラパワー社は現時点では開発の早期段階であり実用化までには更に 10 年を要すると発言している。